

「新たな国土・広域計画研究会」第1回議事概要

日時：令和2年12月2日（水） 19：30～20：50

場所：WEB 会議方式

○各出席者からのコメント。

- ・一堂に会する会が無いので作業はそれぞれの大学で進める。
- ・データの分析については福田先生が中心となり既に学生との間で講義をして頂き一度打合せを行っている。
- ・人と国土21に学生にも提言をさせるつもりなので頑張れと言っている。
- ・4名の学生が参加予定。年内にはテーマを決めたい。今日の話も学生に話して東大としてどんな検討するか考えていく。
- ・4名が参加予定。「地方移住」「地方にどんな変化があるのか」に関心をもっている。「新型コロナは国土、地域、都市にどのような影響を与えるのか？（仮説）東京一極集中が是正されるのではないか」
- ・3年生5名が関わっている。皆首都圏の学生。観光まちづくりを研究している。
- ・コロナで観光の様子変わった。観光客が二極化している。コロナを気にしない人、慎重な人。コロナ前後でそれほど変わらないのではないかと。
- ・今回は、コロナとあまり関係なく、観光と国土計画がどう繋がるのかについて扱うテーマとしたい。
- ・関係人口がバズワードとなっている。観光を契機に関係人口を増やしさらに移住人口となる過程を実証するような調査を設計したいと考えている。
- ・本研究会の報告をまとめるにあたって全体を貫くストーリーをどうするのか、各大学の学生がどういう部分の検討をするか決めていくほうが良いと思う。
- ・最後の発表の形は「人と国土21」もあるが、学生の達成感のために世の中に発表する形も考えられる。
- ・目次を作る作業が必要。
- ・国土の長期展望の資料を今回輪講に入った学生に検討してもらい座談会などをやったらどうか。
- ・関係人口のデータは国土審議会の資料にある。定量的な検討してはどうか。
- ・人と国土21は隔月で奇数月の発行。原稿の締め切りは前月となる。
- ・出し方として色んなやり方あるが、学生・若者がどういうことを考え、まとめられた形態に全体として各先生のお名前が出る形となるのが良い。
- ・人口移動系のデータも出ている。うまく加工してオリジナルの切り口が

出て学生たちの裏付けとなれば良い。福田先生にお願いしたい。出来るだけ客観的なデータが出てくるとありがたい。

- テレワークのデータが多く出ているが数字をじっくり見極める必要がある。それを参加される学生がどう見るか関心ある。
- 長崎県をみると東京より福岡に出る学生が多い。長崎の学生マインドとして東京は時々行くところで住むところではないと感じている。

以上